



# Everlasting



Masashi Usui & Phillip Strange



# Everlasting ~不朽~

## Masashi Usui & Phillip Strange Jazz Duo

最高の音質を追求しこだわりぬいたレコーディング、現代の斬新なハーモニーとジャズの伝統に根付いた親しみやすさが合わさった作曲アレンジによる11曲を収録。壮麗、静寂、寛ぎ、そしてリリシズム。2人の音楽的な詩人による 極上の美の世界。

1. Desayuno
2. My Room in Chelsea
3. Speak!
4. Menuet
5. Route 62 Walking with Adam
6. Audrey's Holiday
7. Innocence
8. ChitChat
9. The Crooked Man
10. Everlasting
11. The Taste of Peat

Total Time – 55:12

All Compositions by Masashi Usui

Produced by Masashi Usui

Recorded February 23-24 at Koko Plaza, Osaka, Japan

Recording Engineer: 春日峰夫

Saxophone Mouthpiece: Sebastian Knox

Saxophone Repair & Maintenance: 小田桐工房

Design: 古屋智英

Flower Arrangement: 伊藤透康

©© 2021 Office THE SOUND ¥3,300 (税込み)

\*このCDの売り上げの一部はG+SPREAD社に送られ、特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンを通じてアジアまたはアフリカの子どものための学校建設資金として寄付されます。 <http://www.g-spread.co.jp/>



碓井雅史 (うすいまさし) サクソフォーン奏者・作編曲家

富山県出身。愛知県立芸術大学音楽科卒業。McGill大学大学院音楽学部jazz performance科そしてGraduate Diploma jazz performance科を日本人第一号として修了。1998年第15回富山県青少年音楽コンクール「青少年音楽大賞」など歴代最高数の賞を受賞。2015年McGill大学大学院からSchulich ScholarshipおよびGraduate Excellence Fellowshipを付与される。

2016,2017年度モントリオール国際ジャズフェスティバルに自身のカルテットで出演。2017年7月、カナダを代表する演奏家Paul Shrofel, Adrian Vedady, André Whiteとモントリオールにてレコーディングを行い1stアルバム「All That You See」を発表。

2019年6月、モントリオール国際ジャズフェスティバルにLaura Anglade Quintetのメンバーとして出演。同時にLauraの1stアルバム「I've Got Just About Everything」がJustin Time Records から発売。音楽家育成にも才能を発揮しており、モントリオール国際ジャズフェスティバル40周年記念として開催されたOliver-Jones Awardにて彼の生徒がグランプリを受賞。

2021年8月8日Phillip StrangeとのDuo作品"Everlasting"を発表。2018年までMcGill大学講師(Jazz Practical Instruction)。現在カナダ・トロント在住。

北米にてFukushi Tainaka, André White, Mark Taylor, Al McLean, Kevin Dean, Reg Schwager, Mike Rud, Greg Clayton, Geoff Lapp, Paul Shrofel, Neil Swainson, Alec Walkington, Adrian Vedady, 日本国内では大森明, 吉岡秀晃, Phillip Strange等と共演している。



Phillip Strange (フィリップ・ストレンジ) DMA

Phillip Strange は過去40 年間、ジャズ・ピアニスト、作曲家、作詞家、そして大学教授として活躍。ジョー・ヘンダーソン、ルー・タバキン、デーブ・ホーランド、ピーター・アースキン、マーク・ジョンソン、ジェームス・ムーディー、ケビン・マホガニー、グレン・ミラー・オーケストラ等と、アメリカ、ヨーロッパ、日本で共演し、又50枚のCDにFeatured Artist、またはGuest Artistとして参加。2013年New Truth RecordsからPhillip Strange Trio CD『Dreamscapes』をリリースするが、そのメンバーはピーター・アースキン(ウェザー・リポート、ダイアナ・クラールのドラマー)、デレク・オールズ(ブラッド・メルドーのベーシスト)である。又、日本とアメリカでの数々のジャズフェスティバルに出演する。2014年京都大学教授、岡田暁生氏と共にベストセラー本『すごいジャズには理由がある音楽学者とジャズピアニストの対話』を出版。

1999年に奨学金給費特別研究員としてマイアミ大学に招かれ、2003年には博士号が与えられる。博士号研究員としてマイアミ大学に在籍している間には、ダウンビート誌より、“Best Instrumental Jazz Soloist”(2003、2002)、“Best Jazz Original Composition”(2002)、“Best Jazz Instrumental Group”(2001)等、数々の賞を受賞。Phillip Strangeは演奏だけでなくジャズ・ミュージシャン育成にも才能を発揮し、2005年にはマイアミ大学で教えていた彼の生徒も“Best Instrumental Jazz Soloist”を受賞する。又、2008年と2011年浅草ジャズコンテストでグランプリを受賞したヴォーカリストも彼の生徒です。

Phillip Strangeは修士号はクラシックピアノ演奏、学士号は音楽教育で取得しており、クラシックピアノのリサイタルやオーケストラとの共演も数多くある。